

## 第2学年 音楽科学習指導案

- 1 題材 **みんなで音をききあって、森の音がくかいをひらこう**  
 教材曲 『山のポルカ』による森の音がくかい 橋本祥路 作曲  
 「こぐまの二月」 平井多美子 作詞／市川都志春 作曲  
 「木のはのゆうびん」 芙龍明子 作詞／川崎祥悦 作曲

### 2 学習指導の考え方

**このような子どもたちだから**

本学年の子どもたちは、身近な打楽器で、音の組み合わせの違いによって、音色が変わることを感じ取ったり、音色の面白い組み合わせを工夫したりすることを経験している。しかし、その曲想に合うような音色を選んだり、奏法を工夫したりすることに対しては、自分の思いや願いをもって意識して表現したり、自分の表現に夢中になって、お互いの音を聴き合って演奏したりしようとしている子どもは少ない。

**このような教材で**

- 鑑賞曲『山のポルカ』による森の音がくかい」は、「山のポルカ」の旋律を管楽器と打楽器を中心に、各楽器が断片的に独奏部をつくってまとめられている楽しい感じの曲である。いろいろな楽器の音色の違いや楽器の重なり合う響きを感じ取って聴くことができる。
- 器楽曲「こぐまの二月」は、長い冬ごもりから目が覚めたこぐまが、春を待ちわびている様子を愛らしく表した曲である。主旋律、副次的な旋律、低音の3パートでできており、お互いの音を聴き合いながらきれいな音で合奏を楽しむことができる。
- 歌唱曲「木のはのゆうびん」は、季節の移り変わりを木の葉の変化に見つけて、それを郵便に見立てたかわいい感じの曲である。曲にあった声の出し方を工夫したり、互いの旋律の重なりを聴き合いながら、輪唱に親むことができる。  
 これらのことから、楽器の音色や重なり合う響きを意識して曲を聴いたり、互いの旋律を聴き合って、演奏したりしていく学習に適していると考えられる。

**このような指導・支援を行いながら**

- **つかむ段階**  
 『山のポルカ』による森の音がくかい」で、主な旋律をラッパ、笛、太鼓の仲間が演奏していることに気付かせるために、題材「いい音をみつけてあそぼう」の時にいろいろな楽器の音をみつけたことを活用していく。音色の変化を感じ取って聴くことができるように、それぞれの楽器の音と絵を用意する。
- **深める段階**  
 「こぐまの二月」で、曲のイメージをもち、互いのフレーズのまとまりを感じ取って合奏することができるように歌詞唱をする。3つのパートをお互いによく聴き合って曲の気分にあった演奏ができるようにするために、前時で学習した歌詞唱を活用したり、聴き比べをしたりしながら、奏法、速さ、強弱の工夫することに気づかせていく。  
 「木のはのゆうびん」では、お互いの声を聴き合いながら輪唱ができるように、「こぐまの二月」で習得したフレーズごとのまとまりを感じ取って演奏することを活用して歌うようにする。
- **味わう段階**  
 音色や重なり合う響きを感じ取って、曲を聴いたり、演奏したり、歌ったりして、題材のまとめをすることができるように、「森の音楽会を開く」ということで、題材の振り返りをさせる。

**このような目標を設定して学習指導を展開します**

- 楽器と歌の音色や響き合いに関心をもって、曲を聴いたり、互いの音や声を合わせて演奏したり、歌ったりすることができる。

### 3 学習指導計画（全 10 時間）

題材	教材曲	つかむ段階	深める段階	味わう段階
		第1次(2)	第2次(7)	第3次(1)
みんなで音をききあって、森の音がくかいをひらこう	『山のポルカ』による 森の音がくかい			
	「こぐまの二月」			
	「木のはのゆうびん」			

### 4 (1) 評価と評価計画（題材の展開と題材の評価規準→単位時間ごとの学習計画における評価規準）

	題材の評価規準	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
		音楽に対する興味・関心を持ち、進んで音楽活動を楽しもうとする。	音色の違いやフレーズなどを感知取りそれを生かした表現の工夫をしている。	互いの楽器の音や歌声の響きを聴いて、演奏したり歌ったりしている。	楽器の音色に気をつけて聴くとともに、楽曲の気分を感じ取って聴く。
本題材で取り上げる活動と評価のかかわり	歌唱	○	○	○	○
	器楽	○	○	○	○
	音楽づくり	○	○	○	○
	鑑賞	○	○	○	○
学習過程	主な学習活動と内容	単位時間ごとの学習における具体的な評価規準			
第1次  つかむ段階 ①	ねらい：楽器の響き合いの面白さを感じ取って聴く。				
	○ 『山のポルカ』による森の音がくかいの曲の気分を感じ取って聴く。 ・ いろいろな楽器の音色を感じ取って聴くこと 習得	① 楽器の音色や演奏の仕方に関心・興味を持ち、その魅力を感じ取ろうとしている。 [鑑賞] (発言, 体を使った表現, ノート)			
② 本時の2の1	○ 楽器が重なり合う響きを感じ取って聴く。 ・ 楽器の音色や重なり合う響きを意識して聴くこと 習得				① いろいろな楽器の音色や重なり合う響きに興味をもって聴いている。 [鑑賞] (発言, 体を使った表現, ノート)
第2次	ねらい：互いの旋律を聴き合いながら合奏したり、輪唱したりすることができるようにする。				

<p>深める段階 ①</p>	<p>○ 「こぐまの二月」の曲想にふさわしい表現を工夫しながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲の気分を感じ取ること</li> <li>・ 曲想に合った表現の工夫をすること</li> </ul> <p style="text-align: right;">活用</p>	<p>② 主旋律や副次的旋律・低音部などを加えた楽曲を身近な楽器を用いて表現することに興味関心をもっている。</p> <p>[歌唱] (観察, 発言)</p>			
<p>②</p>	<p>○ 階名で模唱したり暗唱したりして、主旋律(歌唱)と低音部、副次的な旋律(鍵盤ハーモニカ)を合わせて演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鍵盤ハーモニカの基本的な奏法に気をつけて表現すること</li> </ul> <p style="text-align: right;">活用</p>			<p>① 鍵盤ハーモニカの基本的奏法に気をつけて主旋律を演奏したり、低音部や副次的な旋律を演奏したりしている。</p> <p>[器楽] (観察, 聴取)</p>	
<p>③</p>	<p>○ 階名で模唱したり暗唱したりして、「こぐまの二月」の主旋律1番を鍵盤ハーモニカで演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽を特徴づける要素を生かして曲の感じにあう表現をすること</li> </ul> <p style="text-align: right;">活用</p>		<p>① 1番の曲の感じにあった奏法や速さ、強弱などに気を付けて演奏している。</p> <p>[器楽] (観察, 聴取, 学習ノート)</p>	<p>② 自分の演奏する楽器の音色に気を付けながら、正しい音程やリズムで表現している。[器楽] (観察, 聴取)</p>	
<p>④ 本時 2 の 4</p>	<p>○ 主旋律2番を鍵盤ハーモニカで演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽を特徴づける要素を生かして曲の感じにあう表現をすること</li> </ul> <p style="text-align: right;">活用</p>		<p>② 歌詞の内容を生かして曲想を工夫しながら鍵盤ハーモニカで演奏している。</p> <p>[器楽] (観察)</p>	<p>③ 2番の曲の感じにあった奏法や速さ、強弱などに気を付けて演奏している。[器楽] (観察, 聴取)</p>	
<p>⑤</p>	<p>○ 主旋律・副次的な旋律・低音部をあわせて鍵盤ハーモニカで演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フレーズを意識して、三つの旋律の重なりによる響きを聴き合いながら表現すること</li> </ul> <p style="text-align: right;">習得</p>			<p>④ 互いの楽器の音を聴き合い、音程やリズムをそろえて演奏している。</p> <p>[器楽] (観察, 聴取)</p>	
<p>⑥</p>	<p>○ 音色の違いをいかした楽器の組み合わせを工夫して合奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音色の工夫をすること</li> </ul>		<p>③ 友達の演奏を聴いて楽器の音色や響きに気をつけて</p>		

	活用		演奏の仕方を工夫している。 【器楽】(観察, 発言)		
⑦ 本 時 2 の 5	○ 「木のはのゆうびん」の旋律を友達の声を聴き合いながら輪唱する。 ・ フレーズのまとまりを感じ取りながら輪唱すること 習得	③ 友達と一緒に心を合わせて輪唱することを楽しんでいる。【歌唱】(観察, 聴取)		⑤ 友達の歌声によく耳を傾けみんなの声と合わせて歌うとともに、伴奏の響きを聴いて歌っている。【歌唱】(観察, 聴取)	
第3次 味 わ う 段 階 ①	ねらい：音色の響きを味わって聴いたり、お互いの音をよく聴き合って演奏したりする。 ○ 森の音がくかいを開く。 ・ 音色や音の重な合う響きを感じ取って、聴くこと。 ・ お互いの音を良く聴き合って演奏すること 活用		④ 楽器の音色や音の重なりに関心を持ちながら、曲を聴いたり、表現を工夫したりしている。【鑑賞】(観察, 聴取, 発言)		② 友達の表現を互いに聴きあって、その良さを感じ取りながら聴いている。【鑑賞】(観察, 発言, ノート)

## (2) 観点別評価の進め方

### 【音楽への関心・意欲・態度】

学習活動における具体的評価規準	具体的な評価方法とCと判断される場合の支援
アー① 楽器の音色や演奏の仕方に興味・関心を持ちその魅力を感じ取ろうとしている。 【鑑賞】 (体を使った表現, 発言, ノート)	● 評価方法 楽器の音色の違いや重なり合う響きに気付いて、挙手したり、発表したり、楽器カードをならべたり、学習ノートに記録したりするところから判断する。 ● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 体を使った表現 <input type="checkbox"/> 発言 <input type="checkbox"/> 積極的な行動 楽器の音色の違いや重なり合う響きに気付いて友達に教えたり、積極的に発言したり、音色に合わせて演奏している様子を体で表現したりしている姿をAとしたい。 ● Cと判断される子どもへの支援 音色が変わったところで、楽器カードを示したり、友達の動きを真似させたり、そばに行き一緒に動いたりして、本人の興味を引き出すようにしたい。
アー② 「こぐまの二月」 主旋律や副次的旋律・低音部などを加えた楽曲を身近な楽器を用いて表現することに興味関心をもっている。 【歌唱】 (観察, 発言)	● 評価方法 グループで練習に取り組んでいる様子や子どもの発言から判断する。 ● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 音楽的な意見の提案 <input type="checkbox"/> 効果的な演奏の仕方の選択 曲想と音楽的要素をつないで発言したり、音楽的要素を生かして曲想にあった演奏をしたりしている姿をAとしたい。 ● Cと判断される子どもへの支援 さし絵をみながら表現しようとしているこぐまのイメージを一緒に確認したり、グループの友達の演奏や他のグループの演奏を聴かせたりして、いろいろな演奏の仕方があることに気付かせる。

<p>ア-③</p>	<p>「木のはのゆうびん」 友達と一緒に心を合わせて輪唱することを楽しんでいる。 【歌唱】 (観察, 聴取)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 輪唱の曲の感じを聴いて楽しんだり, 同じパートの友達と合わせて歌ったりする姿から判断する。</li> <li>● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 積極的な発言   <input type="checkbox"/> 体を使った表現   <input type="checkbox"/> 表情 旋律のどこで重なっているのか, 気付いて積極的に発言したり, フレーズのまとまりに合わせて体を動かしたり, 表情豊かに歌う姿をAとしたい。</li> <li>● Cと判断される子どもへの支援 子どものそばに行き一緒に歌ったり, 友達の声に合わせて助言したりする。</li> </ul>
------------	--	--

【音楽的な感受や表現の工夫】

学習活動における具体的評価規準	具体的な評価方法とCと判断される場合の支援
<p>イー①</p> <p>「こぐまの二月」 ④ 1番の曲の感じに合った奏法や速さ, 強弱などに気を付けて演奏している。 【器楽】 (聴取, 観察, ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 1番の歌詞に合った奏法や速さ, 強弱などを変えようと発言をしたり, 練習したりする様子や学習プリントの書き込みから判断する。</li> <li>● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 美しい音色の追求   <input type="checkbox"/> 表情の工夫 曲想と音楽的要素をつないで発言したり, 曲想に合った表情で歌ったりしている姿をAとしたい。</li> <li>● Cと判断される子どもへの支援 「音楽の言葉」カードを提示しておき, 自分の感じたことにある言葉を選んで発言するよう助言する。</li> </ul>
<p>イー②</p> <p>「こぐまの二月」 歌詞の内容を生かして, 曲想を工夫しながら, 鍵盤ハーモニカを演奏している。 【器楽】 (観察, 発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 1番と2番の歌詞の内容を比べながら, 速さ, 演奏の表現の仕方を変えようとしている発言や演奏の様子から判断する。</li> <li>● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 積極的な行動   <input type="checkbox"/> 集中した練習   <input type="checkbox"/> リーダーシップ 曲想にふさわしい表現になるように, 速さを変えたり, 奏法を変えたりしながら, グループのみんなをまとめたり, 工夫する部分を繰り返し練習したりする姿をAとしたい。</li> <li>● Cと判断される子どもへの支援 子どものそばで, どのように工夫したらいいのか子どものつぶやきを聞き取って, みんなに知らせる。</li> </ul>
<p>イー③</p> <p>「こぐまの二月」 友達の演奏を聴いて, 楽器の音色や響きに気をつけて, 演奏の仕方を工夫している。 【器楽】 (観察, 発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 グループで練習している様子を観察したり, お互いの演奏を聴きあう中での発言から判断したりする。</li> <li>● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 美しい音色の追求   <input type="checkbox"/> メンバーの意見の調整 演奏のバランス等を考えて, グループ全体の表現をよりよくする発言や役割ができていく姿をAとしたい。</li> <li>● Cと判断される子どもへの支援 曲想にあった音色を一緒に考えたり, 部分的な参加を促したりして, 本人の意欲を喚起する。</li> </ul>

<p>イー④</p>	<p>『山のポルカ』による森の音がくかい 「こぐまの二月」 「木のはのゆうびん」 楽器の音色や音の重なりに気を付けながら、曲を聴いたり、表現を工夫したりしている。 【鑑賞】 (観察, ノート, 発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 友達の表現を互いに聴いて、楽器の音色や音の重なりに気を付けながら、そのよさを感じ取って、発表したり学習ノートに記録したりしている。</li> <li>● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 学習ノート <input type="checkbox"/> 積極的な発言 <input type="checkbox"/> 体を使った表現 楽器の音色や音の重なりを感じ取って友達のよいところを進んで発表したり、友達の演奏に合わせて体を動かしながら曲を聴いたりする姿をAとしたい。</li> <li>● Cと判断される子どもへの支援 今までの学習の掲示物などを示しながら学習を振り返らせ、聴く視点をもたせて感じ取らせるようにする。</li> </ul>
------------	--	--

【表現の技能】

学習活動における具体的評価規準	具体的な評価方法とCと判断される場合の支援
<p>ウー①</p> <p>「こぐまの二月」 鍵盤ハーモニカの基本的奏法に気をつけて主旋律を演奏したり、低音部や副次的旋律を演奏したりしている。 【器楽】 (観察, 聴取)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 楽譜どおりに演奏ができて、拍の流れやフレーズに気を付けて演奏している様子から判断する。</li> <li>● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> きれいなタンギング <input type="checkbox"/> フレーズを意識した演奏 きれいなタンギングや、フレーズを意識したブレスコントロールをして正しく演奏ができ、音の大きさに気を付けて演奏できている姿をAとしたい。</li> <li>● Cと判断される子どもへの支援 個人練習の時に運指の仕方やブレスの場所を一緒に確認したり、実演してみせたりして演奏への抵抗を取り除くようにする。</li> </ul>
<p>ウー②</p> <p>「こぐまの二月」 自分の演奏する楽器の音色に気を付けながら、正しい音程やリズムで表現している。 【器楽】 (観察, 聴取)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 グループで練習しているときの一人一人の技能やタンギングなどの奏法に気をつけて演奏しているかを見て判断する。</li> <li>● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 曲想にあった表現の追求 <input type="checkbox"/> リーダーシップ 曲想にあった表現をするために奏法に気をつけて演奏したり、グループの友達に進んで演奏の仕方を教えたりしている姿をAとしたい。</li> <li>● Cと判断される子どもへの支援 表現したいという思いがあっても演奏の仕方が分からない子どもには、演奏の仕方を教えたり、一緒に吹いたり、他の子どもの演奏を聴かせたりする。</li> </ul>
<p>ウー③</p> <p>「こぐまの二月」 2番の曲の感じにあった奏法や速さ、強弱などに気をつけて演奏している。 【器楽】 (観察, 聴取)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 グループで練習しているときの一人一人の技能やなめらかに演奏するなどの奏法に気をつけて演奏しているかを見て判断する。</li> <li>● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 曲想にあった表現の追求 <input type="checkbox"/> リーダーシップ 曲想にあった表現をするために奏法に気を付けて演奏したり、グループの友達に進んで演奏の仕方を教えたりしている姿をAとしたい。</li> <li>● Cと判断される子どもへの支援 表現したいという思いがあっても演奏の仕方が分からない子どもには、演奏の仕方を教えたり、一緒に吹いたり、他の子どもの演奏を聴かせたりする。</li> </ul>

<p>ウー④</p>	<p>「こぐまの二月」 互いの楽器の音を聴き合い、音程やリズムをそろえて演奏している。 <b>【器楽】</b> (観察, 聴取)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 各グループの練習をまわって演奏を聴いたり、一人ひとりの技能的な演奏の様子から判断していく。</li> <li>● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 正確な演奏    <input type="checkbox"/> 美しい演奏 きれいなタンギングや、フレーズを意識したブレスコントロールをして、自分の音と他の音を合わせながら演奏している姿をAとしたい。</li> <li>● Cと判断される子どもへの支援 演奏の進行にあわせて指で楽譜を指し示したり、フレーズを示したりしながら曲の流れを一緒に感じていけるようにする。 それぞれの旋律の練習の段階で技能的なつまづきが見られたる子どもには個人指導の時間を設けるなどして演奏の技能を身に付けさせるようにする。</li> </ul>
<p>ウー⑤</p>	<p>「木のはのゆうびん」 友達の歌声に耳をよく傾け、みんなの声と合わせて歌うとともに、伴奏の響きを聴いて歌っている。 <b>【歌唱】</b> (観察, 聴取)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 相手の組の声を聴きながら、拍の流れやフレーズに気をつけて歌っている歌声で判断していく。</li> <li>● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 伸びやかな歌声    <input type="checkbox"/> 相手の歌声を聞きながらの歌唱 曲想にあった歌声で、フレーズのまとまりに気を付けながら相手の声を聴き合っている姿をAとする。</li> <li>● Cと判断される子どもへの支援 教師が横に立って一緒に歌ってあげたり、のびのびと正しく歌っている子どもの横に立たせたりする。</li> </ul>

**【鑑賞の能力】**

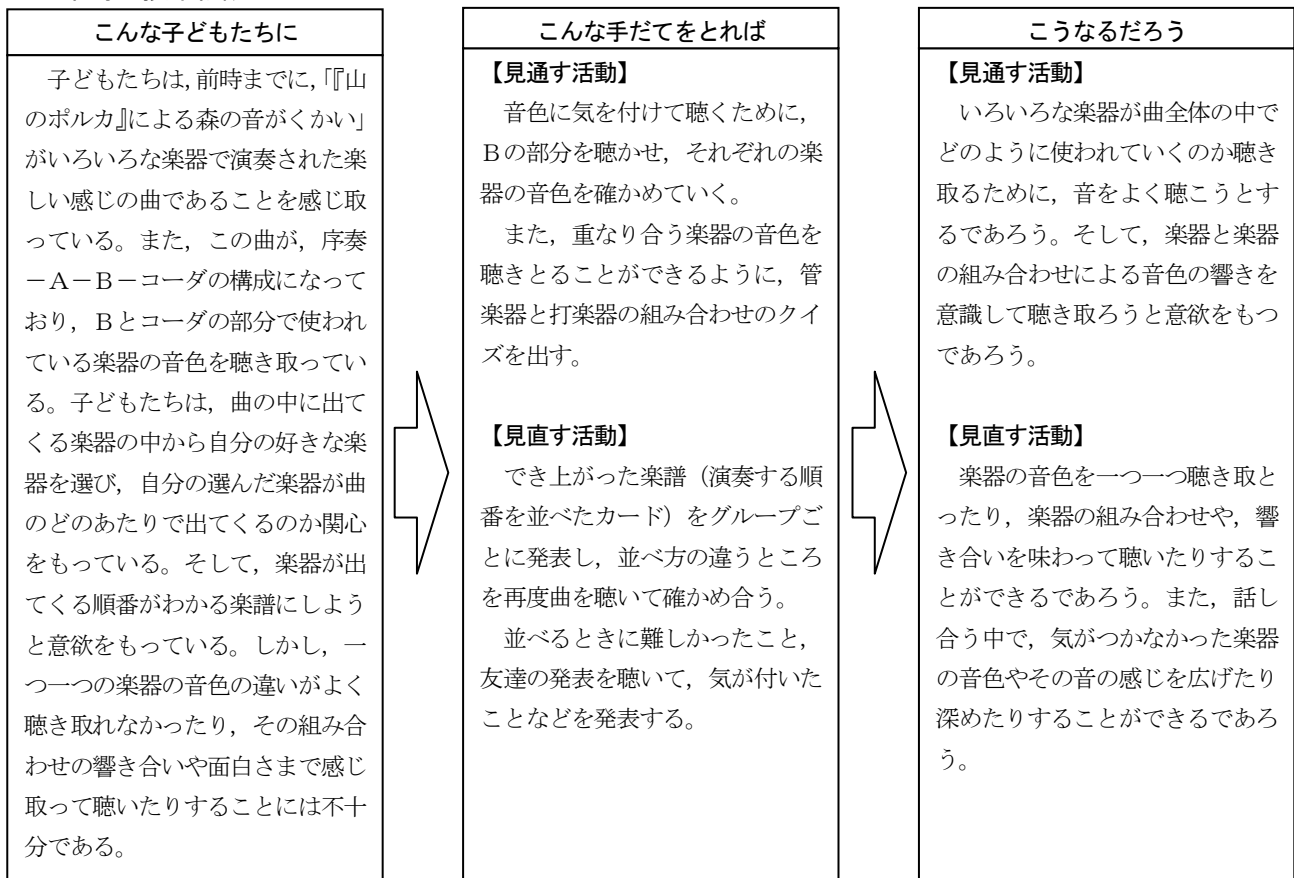
学習活動における具体的評価規準	具体的な評価方法とCと判断される場合の支援
<p>エー①</p> <p>『「山のポルカ」による森の音がくかい』 いろいろな楽器の音色や重なり合う響きに興味をもって聴いている。 <b>【鑑賞】</b> (発言, 体を使った表現, ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 音色の変化をグループ内で話し合いをしたり、音色カードを並べたりしていたり、音色に関して気付いたことをノートに書いているところから判断する。</li> <li>● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> リーダーシップ    <input type="checkbox"/> ねらいに即した発言 グループ内での話し合いにリーダーシップをとって進めたり、楽器の音色についてこの楽器の仲間は、～感じの音と適切な言葉で表現できたりする姿をAとしたい。</li> <li>● Cと判断される子どもへの支援 そばに行き、音色が変わるたびに楽器の挿絵を指し示しながら聴き取らせていくようにしたい。</li> </ul>
<p>エー②</p> <p>友達の表現を互いに聴きあってその良さを感じ取りながら聴いている。 <b>【鑑賞】</b> (観察, 発言, ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 学習のまとめとしての発表会で、他のグループの演奏を聴いているときの態度、聴いた後の発言の様子、鑑賞後に記入する学習カードによって判断していく。</li> <li>● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 題材のねらいに即した発言    <input type="checkbox"/> たくさんのよい点の発見 この単元目標である音や声の重なりよさを感じ取り、言葉で表現することができている姿をAとしたい。</li> <li>● Cと判断される子どもへの支援 よい面を発見できなかった子どもについては自分たちの演奏と比べながら、他のグループのよさを見つけるようにアドバイスをしていく。</li> </ul>

5 本時 (2/10 つかむ段階) 公開授業① 2年 組教室にて 指導者

6 本時の目標

- オーケストラの楽器に関心を持ち、楽器の音色や響き合いの面白さを感じ取って聴くことができる。

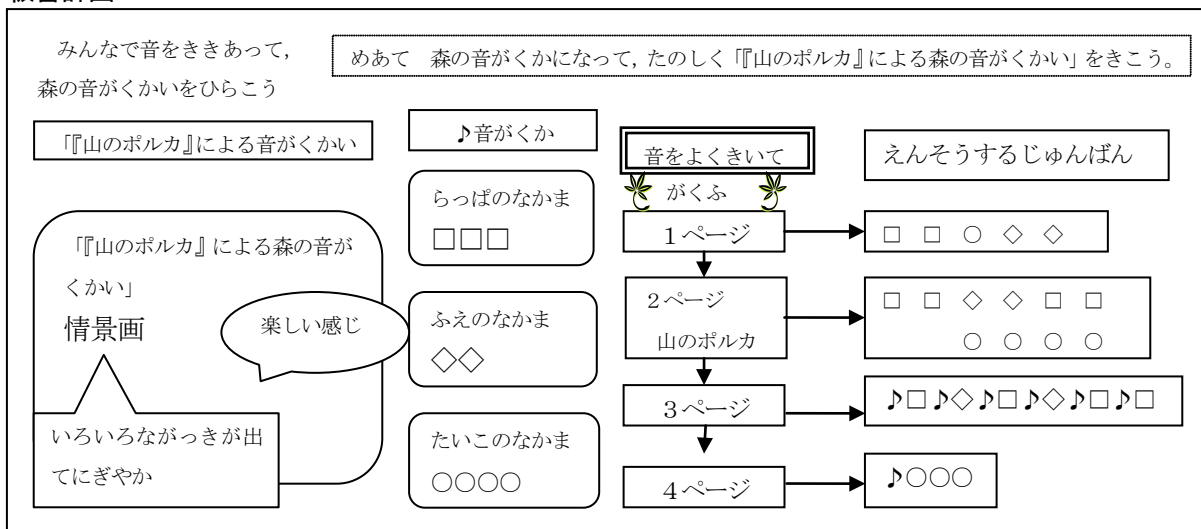
7 本時の授業仮説



8 準備

- 教師…情景画、楽器のカード、CDデッキ  
楽器ごとの音色（笛のなかま、ラッパのなかま、たいこのなかま）
- 子ども…楽器のペンダント、楽器カード、楽譜シート

9 板書計画





10 本時の展開

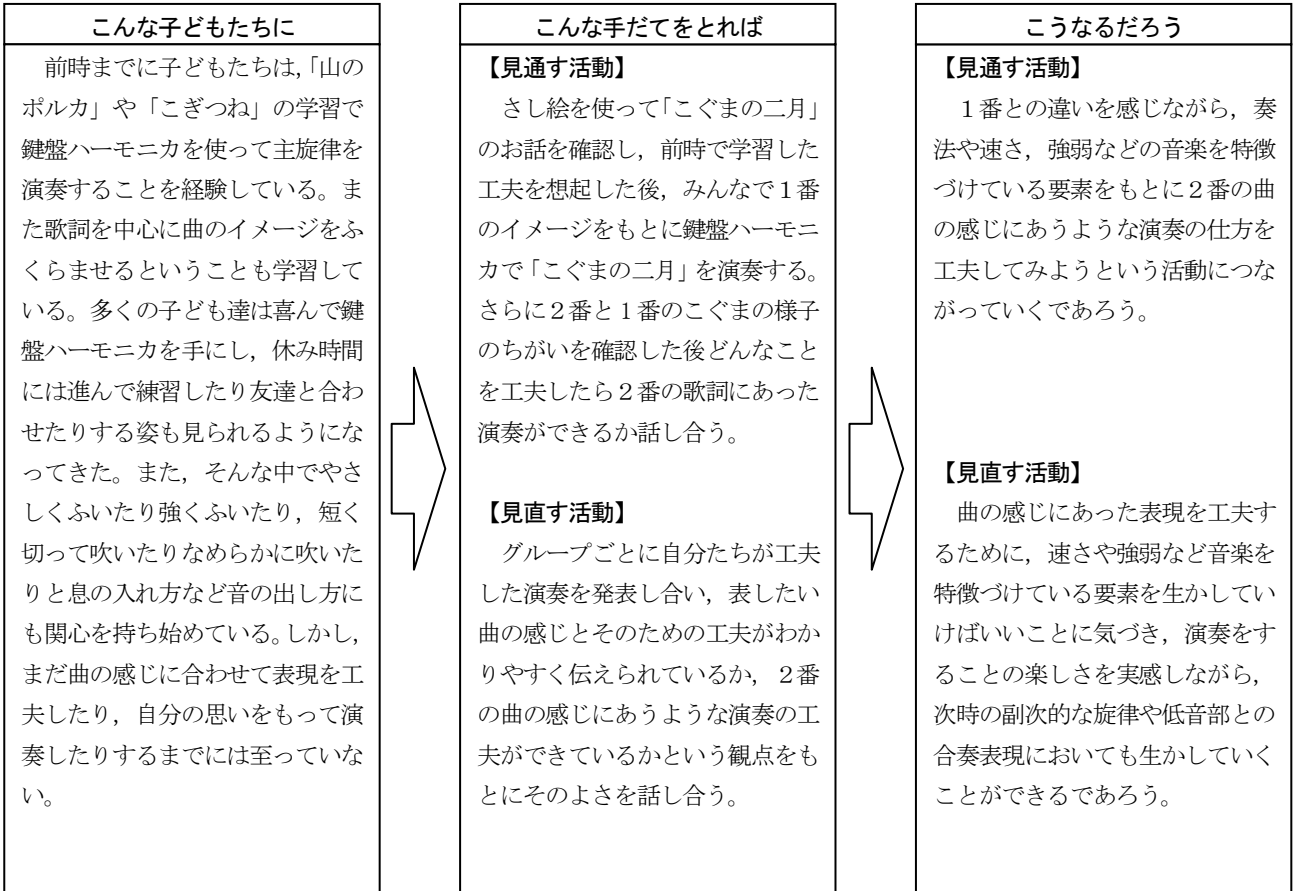
学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用) ◆評価規準
<p>1 前時学習を振り返り, 本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて 森の音がくかになって, 楽しく『山のポルカ』による森の音がくかい」をきこう。</p> </div> <p>(2) 見通す活動をする。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p><b>【見通す活動】</b></p> <p>① Bの部分(楽譜3ページ)を聴いて, それぞれの楽器の音色を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・この音は, 小鳥さん(フルート)の楽器だ。</p> <p>・これは, ゾウさん(チューバ)の楽器だ。</p> </div> <p>② 楽器あて, クイズをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>この音は, さるさん(クラリネット)とタン布林かな?</p> </div> </div> <p>2 楽器の音色に気をつけて, 全曲を聴く。</p> <p>(1) 序奏(1ページ)の部分聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽器の音色や響き合いを感じ取ること</li> </ul> <p>序奏(1ページ目の楽譜)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>トランペット→ホルン→大太鼓小太鼓 → フルート→クラリネット</p> </div> <p>(2) Aの部分(2ページ)の部分聴きながら, グループで楽器カードを並べをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽器の音色や響き合いを感じ取ること</li> </ul> <p>Aの部分(2ページ目の楽譜)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ホルン→トロンボーン→フルート →クラリネット→チューバ→ トランペット トライアングル→カスタネット→タン布林→小太鼓</p> </div> <p>(3) 見直す活動をする。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p><b>【見直す活動】</b></p> <p>グループごとに自分たちがつくった楽譜を発表しあい, 楽しかったこと, 分かったことなどを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ラッパの仲間と笛の仲間の音が違うのが分かって楽しかったです。</p> <p>・2ページ目のところにトライアングルが入っていることに気がきました。</p> </div> </div> <p>3 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 全員で森の音楽家になりきって曲を聴く。</p> <p>(2) 学習ノートに今日の学習の感想を書く。</p>	<p>◆ 評価規準</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>楽器の音色に気をつけて聴く</p> <p>楽器の重なりに気をつけて聴く</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 音色に気をつけて聴くために, Bの部分聴かせ, それぞれの楽器の音色を確かめていく。</li> <li>○ 楽器の名前が覚えにくい子どもには, 「○○が吹いている楽器」と楽器を持っている動物の名前で表現してもいいようにする。</li> <li>☆ 重なり合う楽器の音色を聴きとることができるように, 「何と何の楽器でしょう?」というようにクイズにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽器の音色に気付かせさせるために, 自分の好きな楽器を選びその楽器のカードを持たせておく。自分が選んだ楽器の音が出たときに, 起立する。管楽器と打楽器が同時に立つところから, 楽器が重なっていることに気付かせさせる。</li> <li>○ 楽器の音色が分かりにくい時は, 何度も聴かせたり, それぞれの楽器の音色と比べさせたりして, 気付くようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>☆ 楽器の音色や楽器と楽器が響き合っているところをよく聴くことができるように, グループでつくった楽譜で, 楽器の並べ方が違うところや聴き分けるのが難しかったところを再度曲を聴いて確かめ合う。</p> </div> <p>◆ いろいろな楽器の音色や重なり合う響きに興味をもって聴いている。(エー①)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽器の音色に気を付けて聴くようにするために, 自分が好きな楽器が出てくるところで起立し, 曲に合わせて楽器を演奏している様子を想像しながら聴くようにする。</li> </ul>

5 本時 (6/10 深める段階) 公開授業① 2年 組 算数教室にて 指導者

6 本時の目標

- 曲の感じにあわせて、音の出し方や演奏の仕方を工夫することができる。

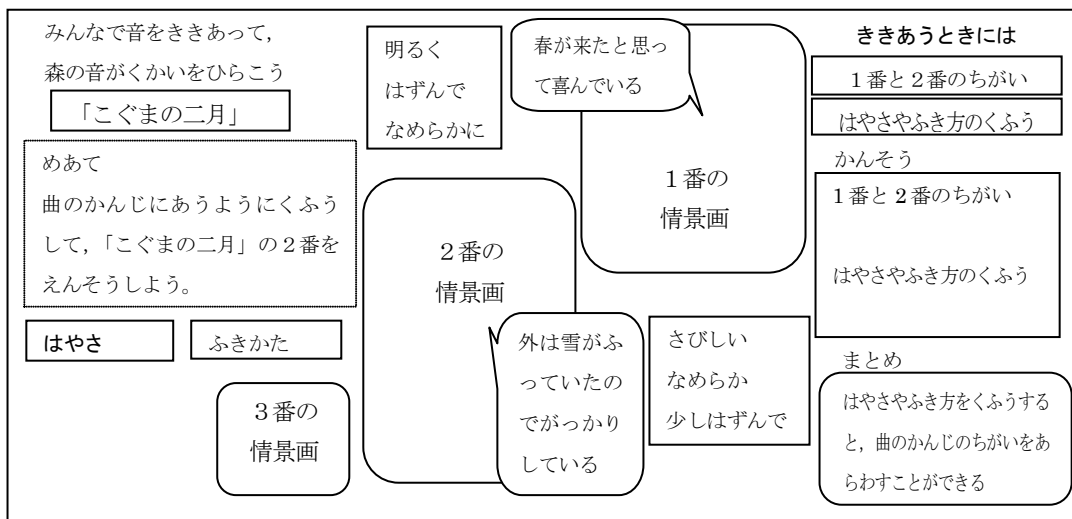
7 本時の授業仮説





8 準備

- 教師…自動伴奏用オルガン、「こぐまの二月」の情景画、
- 子ども…鍵盤ハーモニカ、学習ノート

9 板書計画



10 本時の展開

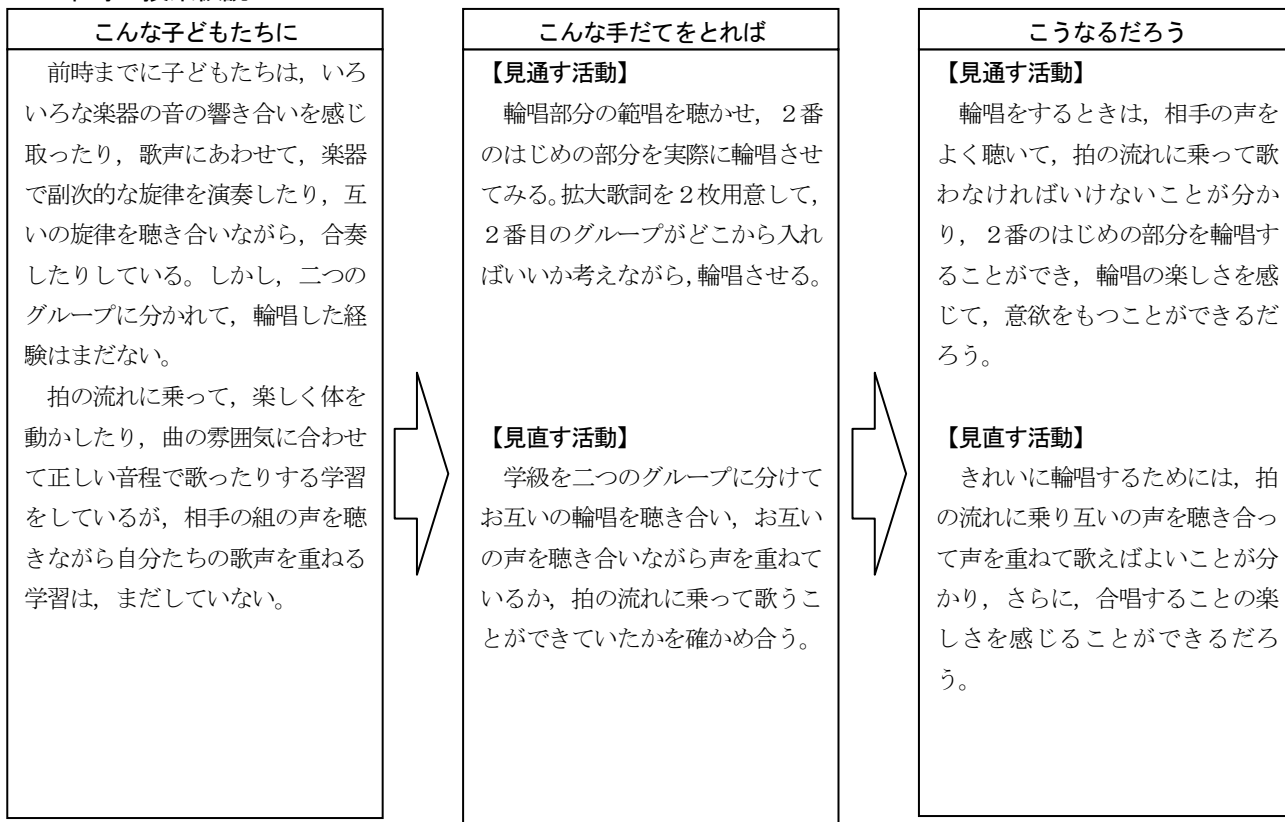
学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用) ◆評価規準
<p>1 前時学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて 曲の感じに合うように工夫して、「こぐまの二月」の2番をえんそうしよう。</p> </div> <p>(2) 見通す活動をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【見通す活動】</b></p> <p>① 1番の歌詞のイメージを想起しながら鍵盤ハーモニカで「こぐまの二月」を演奏する。</p> <p>② 2番の歌詞のイメージにあうような演奏するにはどんなことを工夫したらいいか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2番はこぐまががっかりしている感じがするから、少しゆっくりひくといい。</li> <li>・ 「しかたがないので」のところは、はずませないでなめらかにひくといい。</li> <li>・ 「ゆめみてねたよ」のところはだんだんおそくしていくといい。</li> </ul> </div> </div> <p>2 曲の感じにあうように工夫して演奏する。</p> <p>(1) グループごとに、2番に出てくるこぐまの様子に合った演奏のしかたを工夫する。</p> <p>(予想される活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「しかたがなくて」のところゆっくり演奏している。</li> <li>・ 「くりのみたべて」のところをなめらかに演奏している。</li> <li>・ 全体をゆったり演奏している。</li> <li>・ 「ゆめみてねたよ」を段々おそくしている。</li> </ul> <p>(2) 見直す活動をする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【見直す活動】</b></p> <p>グループの演奏を聴き合い、演奏のしかたの工夫でよかったところを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体をゆっくり演奏していたのでこぐまのがっかりしている様子がよくわかりました</li> <li>・ 「ゆめみてねたよ」をだんだんおそくしていたので、ねむっている感じがよくできていました。</li> </ul> </div> </div> <p>3 学習のまとめをする。</p> <p>(1) グループの演奏の工夫を生かしてみんなで演奏する。</p> <p>(2) 主旋律と低音部を重ねて演奏する。</p> <p>(3) 今日の学習を振り返って、思ったことやもっとやってみたいことを学習ノートに書く。</p>	<p>○ 前時に演奏した1の場面での工夫を想起できるように、挿絵や書き込みをした楽譜を掲示しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>曲想に合った奏法や速さを工夫して演奏すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 1番でこぐまの楽しそうな様子をあらわすために音ははずませたり音を小さくしたりしたことを思い出しながら演奏させる。</li> <li>★ さし絵をもとに2番の歌詞と1番の歌詞に出てくるこぐまの気持ちの違いを明確し、2番も奏法や速さ、強弱を工夫すればいいことに気付かせる。</li> <li>○ イメージをふくらませるために工夫する部分を歌うようにする。</li> </ul> </div> <p>○ 工夫できていないグループには「速さ」や「奏法」を変えさせて、どちらがこぐまの様子にあっているかを考えるように助言したり、活動中でも止めて他のグループの演奏を聴かせたりする。</p> <p>○ イメージができていない子どもには、もう一度さし絵をみながら一緒にお話を確認する。</p> <p>○ 1番と2番を演奏し、違いがでているかどうかをグループの中で聴き合うようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>☆ 聴き合う活動を通して、曲想とつないで演奏の仕方を工夫するよさを感じ取れるように、聴く観点を明確にする。</p> <p>(聴き合う観点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表したい曲の感じに合うように演奏のしかたを工夫しているか。</li> <li>・ 1番と2番の感じの違いが出ているか。</li> </ul> </div> <p>○ 曲の感じにあった奏法や速さ、強弱などの演奏のしかたを工夫すればより豊かな表現ができることを確認する。</p> <p>○ 前時まで学習した副次的な旋律や低音部をかさねるとどうなるだろうかということなげかけ、主旋律と低音部を重ねてみて次時学習への意欲をもたせる。</p> <p>◆ 歌詞の内容を生かして曲想を工夫しながら鍵盤ハーモニカを演奏している。 (イー②)</p> <p>◆ 2番の曲の感じにあった奏法や速さ、強弱などに気をつけて演奏している。 (ウー③)</p>

5 本時 (9/10 深める段階) 公開授業② 2年 組教室にて 指導者

6 本時の目標

- 友達の声に耳を傾けながら、声を合わせて楽しく輪唱することができる。

7 本時の授業仮説



8 準備

- 教師…範唱CD, MD, 自動伴奏付きオルガン, 拡大歌詞, 情景画
- 子ども…学習ノート

9 板書計画

みんなで音をききあって、  
森の音がかいをひらこう  
「木のはのゆうびん」

めあて おたがいの声をききあって、「木のはのゆうびん」を輪唱しよう

見通し

輪唱にしたら

情景画

さわがにさんからねー ひらひらとどいたー

さわがにさんからねー

ひらひらとどいたー

音の重なり  
シンコペーション  
口の開け方・姿勢



見なおし

- ・ 相手の声を聴きながら付点2分音符をのぼすことができたか
- ・ 拍の流れに乗って、心を合わせてりんしょうすることができたか

歌詞

楽譜

10 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用)◆評価規準
<p>1 本時の学習のめあてを知る。</p> <p>(1) 「木のはのゆうびん」を聴き、めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お互いの声を聴きあって「木のはのゆうびん」をりんしょうしよう</p> </div> <p>(2) 見通す活動をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【見通す活動】</b></p> <p>① 木のはのゆうびんの1番を範唱を聴きながら斉唱する。</p> <p>② 2番を輪唱し、出だしを聴いて、どこから歌い出せばいいか話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2番目の組は、1番目の組が「ね」といったところから入ったらいいんだね。</li> <li>・ 相手の組の声をよく聴いて歌おう。</li> </ul> </div> </div> <p>2 「木のはのゆうびん」を歌う。</p> <p>(1) 相手の声を聴きながら2番、3番の輪唱する。 (予想される活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「とどいた」の部分のシンコペーションをはっきりと歌う。</li> <li>・ 拍の流れに乗って歌う。</li> <li>・ たがいの声を聴きながら声を重ねて歌う</li> <li>・ 姿勢や口の開け方に気を付ける。</li> </ul> <p>(2) 見直す活動をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【見直す活動】</b></p> <p>視点を確認した後、聴くグループと歌うグループに分かれて輪唱させ、聴き合い、よかったところを話し合う</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ○○さんは、相手の声を聴きながら、付点2分音符をしっかりとのばしていました</li> <li>・ 相手の声を聴きながら、輪唱ができて、とても楽しかったです。</li> </ul> </div> </div> <p>3 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 1の組と2の組に分かれて、全員で2部輪唱して、歌いまとめとする</p> <p>(2) 学習ノートで学習を振り返り、できるようになったことや、分かったこと、もっとやってみようことを書く。</p>	<p>○ 「木のはのゆうびん」の範唱を聴かせ、めあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ きれいな感じ</li> <li>・ 歌がずれて聞こえている</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>相手の声を聴き合いながらこのはのゆうびんを輪唱すること</p> </div> <p>★ 1番の範唱を聴きながら歌わせ、「木のはのゆうびん」を正しく歌う。</p> <p>☆ 輪唱部分を聴かせ、2番目の組がどこからうたいだせばいいか、2枚の拡大歌詞をずらして提示することで、考えさせ、視覚的に理解させる。</p> <p>○ 2番の前半部分だけで、考えさせ、歌わせる</p> <p>★ 拍の流れに乗って、「木のはのゆうびん」を歌うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情景画・拡大歌詞・拡大楽譜を見ながら「木のはのゆうびん」を正しく歌えるようにする。</li> </ul> <p>○ 二つの組に分かれてリズムうちで輪唱し、リズムが動いている組と、伸ばしている組があることを確認させ、のびしながら、相手の組の声を聴くことを確認させる。</p> <p>○ 拡大楽譜の中のシンコペーションや付点2分音符を確認する。</p> <p>○ 姿勢や口の開け方について教師がモデルを示し、自分達で確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○ 木のはのゆうびんを、楽しく輪唱することができるようになったか、視点を確認して見直す活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の声を聴きながら、声を重ねることができたか。</li> <li>・ 拍の流れに気をつけて乗って、友達と心を合わせて歌うことができたか。</li> </ul> </div> <p>○ 学級全体で心を合わせて歌い、歌いまとめをし、次時学習で森の音楽会を開くことを知らせ、意欲をもつ。</p> <p>◆ 友達と一緒に心を合わせて輪唱することを楽しんでいる。 (ア-③)</p> <p>◆ 友達の歌声によく耳を傾けみんなの声と合わせて歌うとともに伴奏の響きを聴いて歌っている。 (ウ-⑤)</p>